

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

令和5年度事業報告書

【 概 要 】

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症へ変更され、3年にわたる新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなった。

このような状況の中で、市町村では、健（検）診規模をコロナ禍前の状況に戻す動きもみられたが、対象者が感染への不安から受診をためらうなど、受診者数はコロナ禍前の数値に回復することはなかった。

受診者数が減少することにより、がんの発見が遅れ今後、進行がんの増加が懸念されることから、“早期発見・早期治療” のため健（検）診の受診を啓発することに努めた。

さらに、健（検）診会場は感染症対策が徹底されており、安全に受診できること等の広報事業を展開した。

受診者数における前年度比では、がん検診は0.5%の増加、特定健康診査は2.2%の増加となり、ほぼ横ばいの結果であった。

当財団としては、従来どおり健（検）事業を始め、がんやその他の生活習慣病の予防・早期発見等の健康づくりに関する公衆衛生の向上及び高齢者の福祉の増進に必要な事業を行った。

【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に以下に記載の事業を実施した。

《一次予防》 “がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発”

普及啓発事業として、新聞、ラジオ、YouTube、JR 電車内広告、フリーペーパー等を活用し、“健（検）診受診” が生活習慣病やがん等の早期発見・早期治療のために重要であることを広く県民に訴えた。

教育現場からのニーズが高い「がん教育」について、6中学校（参加生徒 875 人）で開催した。

また、中学生に対し、歯や口の健康づくりについての正しい知識の啓発活動として、1校で講演会を開催した。

啓発イベントでは、10月6日に加茂市で「がん征圧新潟県大会」を開催した。

市町村と行う講演会は7市町村で開催し、あわせて各市町村で開催されている健康イベントへのブース出展を13市町村で実施し、啓発に努めた。

《二次予防》 “受診率、検診精度の向上に向けた取り組み”

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上のための啓発活動、健診データの評価分析、健診従事者への研修事業等を実施した。

(各種がん検診について)

がん検診事業を円滑に実施するため、検診従事者の資質向上を目的に、がん検診セミナー等を開催し、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図った。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の統計結果を作成し、更に発見がんに対する疫学調査で発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につなげた。

【 収益事業 】

当財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、当財団に委託を希望する健診実施機関からの代行（478 機関）や個人結果通知書作成業務（3 市 58 機関）を有償で受託し、健診実施機関における事務作業の軽減を図った。

〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

第35回 定例理事会

開催日： 令和5年6月7日（水）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和4年度事業報告」について

第2号議案「令和4年度決算報告」について

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

「定時評議員会へ提出する評議員候補者名簿」について

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

第36回 定例理事会

開催日： 令和6年3月19日（火）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和6年度事業計画」について

第2号議案 「令和6年度収支予算」について

第3号議案 評議員、理事の補充と事務局人事について

第21回 定時評議員会

開催日： 令和5年6月26日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和4年度事業報告」について

第2号議案 「令和4年度決算報告」について

第3号議案 「役員等の選任」について

報告事項： （1）「令和5年度事業計画」について

（2）「令和5年度収支予算」について

令和4年度事業・決算監査

開催日： 令和5年5月30日（火）

場 所： 財団会議室

監 査： （1）「令和4年度事業報告」について

（2）「令和4年度決算報告」について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」と連携し、市町村国保を始めとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に努めた。

※特定健診実施数（後期高齢者健診等を含む）

30市町村国保及び県内3国保組合 235,293人 (230,285人)
()内は令和4年度実施数

1 健診の円滑な実施のための取組み

(1) 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

当財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、特定健診・特定保健指導の全県統一方式(健診の均質化)の推進、健診事業の均質化を図った。

また、特定健診未受診者に係る「情報提供事業」について、医療機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、市町村の保健事業の推進支援に努めた。

参加市町村数 20、参加医療機関数 358

(2) 市町村健康診査等担当者研修会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し研修会を開催した。

開催日： 令和5年6月27日(火)～7月21日(金)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

閲覧数： 166回

(3) 健康診査事業合同打合せ会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

令和6年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により開催した。

開催日： 令和6年2月14日(水)

開催方法： 新潟県自治会館

参加者： 132人

(4) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する

健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営し、令和6年度特定健診料金（案）について協議した。

（5）印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

個人記録票や質問票など健（検）診に使用する記録用紙について、各市町村及び健（検）診機関の必要部数を取りまとめ、一括印刷・配布を行うことにより、健（検）診の全県統一方式の推進とともに、健（検）診事業の効率化を図った。

（6）普及啓発用備品整備貸出等（Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業）

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関する資料や、血管年齢測定機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 42件）

（7）特定健診・特定保健指導受診勧奨用品提供

市町村国保・県内3国保組合及び新潟県健診保健指導支援協議会構成団体が、各種イベントなどにおいて、特定健診の啓発のためのポケットティッシュ、ウェットティッシュ等を提供し、特定健診受診の意識向上を図った。

2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に活用するため、特定健診等の結果集計報告を基に全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し、財団ホームページに掲載した。

3 健康づくりと健診受診率向上等に向けた普及啓発活動

（1）市町村と共同で開催する講演会（Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業）

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導、がん検診の受診勧奨を目的として7市町村で開催した。

ア 妙高市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年4月27日（木）

場所： 新井ふれあい会館

参加者： 108人

内容： 「人生100年時代を笑顔で過ごすために-糖尿病予防・改善のヒント-

講師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示

イ 関川村生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年6月23日（金）

場所： 関川村村民会館

参加者： 58人
内 容： 「体力を維持するための正しい運動のしかた」
講 師： 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎

ウ 新発田市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年7月20日（木）
場 所： 豊浦地区公民館
参加者： 100人
内 容： 「フレイル予防で健康長寿へ～体をつくる大事な食事～」
講 師： 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター
管理栄養士 藤田 恵美子

エ 五泉市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年9月14日（木）
場 所： 五泉市福社会館
参加者： 40人
内 容： 「慢性腎臓病予防講演会」
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科地域医療確保・地域医療課
題解決支援講座 地域医療分野 特任教授 井口 清太郎

オ 見附市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年10月3日（火）
場 所： 見附市保健福祉センター
参加者： 44人
内 容： 「糖尿病を予防・治療する～これならできる！糖尿病豆知識」
講 師： 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八幡 和明

カ 阿賀町生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年11月3日（金）
場 所： 阿賀町総合福祉保健センター「やまぶきの里」
参加者： 23人
内 容： 「転倒予防のための身体づくり～転倒による骨折を防ぐために～」
講 師： 新潟県理学療法士会 副会長 中山 裕子

キ 弥彦村生活習慣病予防講演会

開催日： 令和6年3月14日（木）

場 所： 弥彦村保健センター
参 加 者： 27人
内 容： 「知って得する！慢性腎臓病の基礎知識」
講 師： 新潟聖籠病院 顧問 丸山 弘樹

(2) 中学生に対する生活習慣病予防等教育 (IIがん検診等受託事業と共同事業)

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について啓発を行った。

開催市町村： 4市
開催中学校： 6校
出席生徒数： 875人

ア 新発田市立加治川中学校

開 催 日： 令和5年5月10日(水)
受講者数： 124人
内 容： 「悪性腫瘍・悪性新生物とは」
講 師： あがの市民病院 病院長 藤森 勝也

イ 新発田市立豊浦中学校

開 催 日： 令和5年6月2日(金)
受講者数： 146人
内 容： 「耳鼻咽喉科の“いのち”について」
講 師： 五泉中央病院 院長 高橋 姿

ウ 十日町市立南中学校

開 催 日： 令和5年7月18日(火)
受講者数： 150人
内 容： 「高齢化社会と消化器がんについて」
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器疾患診療ネットワーク講座 特任准教授 上村 博輝

エ 長岡市立東北中学校

開 催 日： 令和5年9月22日(金)
受講者数： 202人
内 容： 「胃がんのお話」
講 師： 厚生連新潟医療センター 副院長 佐藤 祐一

オ 佐渡市立畑野中学校

開催日： 令和5年10月12日（木）

受講者数： 92人

内容： 「“いのち”についての講演会」

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科地域医療確保・地域医療
課題解決支援講座 地域医療分野 特任教授 井口 清太郎

カ 長岡市立江陽中学校

開催日： 令和5年10月19日（木）

受講者数： 161人

内容： 「いま10代の諸君に知って欲しい「がん」のこと」

講師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

（3）中学生に対する歯と口の健康づくり教育

中学生に対し、「歯と口の健康づくり」と題して、啓発を行い、将来、歯周病による全身疾患の発症リスクを抑え、健康寿命の延伸につながるための講演会を開催した。

ア 佐渡市立赤泊中学校

開催日： 令和5年10月24日（火）

受講者数： 35人

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

（4）各種健康づくりイベントへの参加

24時間テレビチャリティブースのイベントに出展し、参加者に対し特定健診及びがん検診等の普及啓発を図った。

開催日： 令和5年8月26日（土）、27日（日）

場所： 万代シティ歩行者天国

参加者： 249人

内容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック、受診
勧奨用パンフレット配布等

（5）市町村健康づくりサポート事業

市町村が住民の健康づくりのために開催する「健康祭り」、「健康フェア」等の際に測定コーナーを開設し、血管年齢測定などを通じて住民に健康づくりの大切さを意識してもらい、市町村の保健活動を支援した。

	種 別	人 数
ア 関川村 令和5年6月23日(金)	血管年齢測定	24
イ 新発田市 令和5年7月20日(木)	血管年齢測定	65
	骨密度測定	49
ウ 五泉市 令和5年9月14日(木)	血管年齢測定	39
エ 長岡市 令和5年9月16,17日(土、日)	血管年齢測定	185
	骨密度測定	132
オ 田上町 令和5年9月24日(日)	血管年齢測定	85
	脳年齢測定	85
	足指力測定	85
カ 見附市 令和5年10月3日(火)	血管年齢測定	51
キ 糸魚川市 令和5年10月9日(月)	血管年齢測定	157
ク 五泉市 令和5年10月13日(金)	血管年齢測定	63
ケ 佐渡市 令和5年10月22日(日)	血管年齢測定	219
コ 出雲崎町 令和5年11月3日(金)	血管年齢測定	50
	骨密度測定	50
サ 阿賀町 令和5年11月3日(金)	血管年齢測定	77
	脳年齢測定	77
	骨密度測定	77
シ 津南町 令和5年11月3日(金)	血管年齢測定	96
ス 刈羽村 令和5年11月4日(土)	血管年齢測定	237
セ 弥彦村 令和6年3月14日(木)	血管年齢測定	20

(6) ホームページを活用した情報提供活動

財団ホームページを県民が利用しやすい内容にリニューアルし、健康づくり情報の発信を行った。

(7) 企業と共同で開催する講演会(Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業) (新規)

企業を対象に、がんを始めとした生活習慣病について、専門医等による講演会など、参加者の生活習慣病予防等の意識啓発を図る事業の効果測定のため、その実施方法等について検討を進めている。

4 広報による受診勧奨(Ⅱ がん検診等受託事業及びⅢ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等

ア JR広告(Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

4月から1年間、県内エリアのJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ ラジオコマーシャル(Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同事業)

B・S・Nラジオにおいて4月から3か月間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送した。

ウ SNS 広告 (YouTube 広告、Google ファインド 広告)

若い世代を含む広い世代への受診勧奨を目的として、9 月から 1 月まで、YouTube や Gmail 等の Google サービスにがん検診及び子宮がん検診の受診勧奨広告を配信した。

(広告表示回数)

・ YouTube 広告	がん検診	36.4 万回
	子宮がん検診	11.7 万回
・ Google ファインド 広告	がん検診	77.1 万回
	子宮がん検診	30.7 万回

(2) 普及啓発用リーフレットの配付

健康寿命の延伸に向け、特定健診受診勧奨用リーフレットやメタボなど特定保健指導対象者向けリーフレットを市町村国保、県内 3 国保組合へ配付し、住民への生活習慣病予防の意識啓発を図った。

(リーフレット)

・ 健診からはじめる健康志向生活	11,200部
・ いかがでしたか？あなたの健診結果	17,500部
・ 健診結果を活用してカラダ改善	33,450部
・ 日々のメンテナンスで健康航海！	18,200部
・ あなたも受けなきゃ！特定健診	3,100部
・ 今ある生活が失われる前に医療機関を受診してください	2,800部
・ この機会を逃さないで！あなたは特定保健指導の対象者です	4,350部
・ あなたは情報提供レベルです～特定保健指導の対象ではありません～	2,700部
・ あなたは動機付け支援レベルです～特定保健指導を受けてください～	4,850部
・ あなたは積極的支援レベルです～特定保健指導を受けてください～	6,400部

II がん検診等受託事業

1 がん検診事業に係るコーディネート

(1) がん検診等に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診の問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は令和4年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	65,869人	(69,014人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数	25	(24)
受診者数	24,097人	(21,856人)

施 設 検 診

契約市町村数	28	(28)
受診者数	17,764人	(17,908人)

体がん検診

契約市町村数	2	(2)
受診者数	389人	(371人)

ウ 肺がん検診

X線写真読影

契約市町村数	30	(30)
受診者数	185,442人	(185,765人)

喀 痰 検 査

契約市町村数	29	(29)
受診者数	2,639人	(2,882人)

エ 乳がん検診

集 団 (マンモ)

契約市町村数	27	(26)
受診者数	41,883人	(38,515人)

施設(マンモ)

契約市町村数	22	(21)
受診者数	12,711人	(13,489人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	124,160人	(122,879)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	1	(1)
受診者数	237人	(271人)

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	12	(12)
受診者数	6,749人	(6,780人)

(2) 市町村健康診査等担当者研修会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(3) 健康診査事業合同打合せ会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(4) 精度管理調査事業

ア 精度管理実態調査

財団では、県民が“安心”して健(検)診を受診できるよう、県内検診機関で構成される「新潟県検診機関協議会」の健(検)診の質の向上を図るため、令和4年度に実施した各種検査機器やマニュアル等の整備状況等に関する実態調査結果について、「新潟県検診精度管理調査委員会」を開催し、調査票の点検評価を実施した。全27機関において要改善事項はなかった。

イ 精度管理調査(県委託事業)

質の高い検診体制の構築を図るために、市町村が行うがん検診を受託する全ての医療機関(診療所等を含む)に対し検診体制の実態把握のため、国立がん研究センターが示す「事業評価のためのチェックリスト」等による精度管理調査を行った。

2 検診データ等の評価・分析

(1) 悪性新生物（がん）登録収集業務（県委託事業）

関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の収受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

登録票受付件数	28,159件	(28,928件)
届出医療機関数	116機関	(148機関)

() 内は令和4年度実績

(2) 検診結果統計分析事業

「Ⅱ-1-(1) がん検診等に係る業務」に記載の各種がん検診実績数の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。また、希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は令和4年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	(3)
・子宮がん検診実施市町村数	3	(3)
・乳がん検診実施市町村数	3	(3)
・肺がん検診実施市町村数	3	(3)
・大腸がん検診実施市町村数	3	(3)
・前立腺がん検診実施市町村数	1	(1)

(3) がん検診データ等一元化事業（任意型検診）

乳がん検診について、県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握するため、新潟県検診機関協議会の協力を得て、任意型検診の結果を収集し分析した。

(4) 疫学調査事業

ア 疫学調査

令和4年度の5大（胃・子宮・肺・乳・大腸）がんの検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

イ 結果報告

令和元年度実施分の胃がん、肺がんの結果を取りまとめ報告書を作成し、関係者に配付した。

ウ 追跡調査

平成30年度疫学調査結果でがんと診断された者の予後について、追跡調査を実施した。

	(令和4年度分) 疫学調査	(平成30年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	199件	169件
・子宮がん検診実施件数	75件	8件
・肺がん検診実施件数	250件	172件
・乳がん検診実施件数	169件	198件
・大腸がん検診実施件数	329件	302件

3 研究・研修の推進

(1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の運営等を支援した。

会 長	新潟県保健衛生センター会長	横山 晶
会 員 数	個人 10人 団体 66団体	
令和5年6月30日(金)	運営委員会	新潟県医師会館
7月21日(金)	第1回理事会	新潟県医師会館
令和6年2月5日(月)	第2回理事会	書面協議

第35回新潟県がん検診研究会総会を開催した。

開 催 日 :	令和5年11月9日(木)
場 所 :	新潟県医師会館
参 加 者 :	46名
内 容 :	
ア 情報提供	
	「新潟県の5大がん検診の現状について」
	新潟県福祉保健部健康づくり支援課 今村 円香
イ 事例発表	
	「がん検診における精密検査受診率向上の取組みについて」
	阿賀町こども・健康推進課 上田 芙美子
	見附市健康福祉課 大塚 崇
ウ 特別講演	
	「大腸がんの早期診断と治療の最前線」
	講 師 新潟県立がんセンター新潟病院 副院長 小林 正明
	座 長 新潟県労働衛生医学協会 月岡 恵

(2) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民の保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の運営等を支援した。

会 長	新潟県健康づくり財団理事長	渡部 透
-----	---------------	------

会 員 数 25団体
令和5年5月23日（火）第1回役員会 書面協議
7月5日（水）定例総会 ハイブリッド開催
12月5日（火）常任幹事会 新潟県医師会館
令和6年3月6日（水）検診従事職員研修会
アートホテル新潟駅前（詳細はP24）
3月22日（水）第2回役員会 書面協議

（3）新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会（12地域）

肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

委 員 長 新潟県保健衛生センター会長 横山 晶

委 員 7人

地域肺がん検討委員会

（設置地域） 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡
魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を書面協議により開催した。

開 催 日： 令和5年12月1日（金）

議 題：

ア 令和4年度肺がん検診結果報告について

イ 令和3年度肺がん検診疫学調査・追跡調査について

ウ 令和4年度地域肺がん検討委員会の開催状況について

（4）新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会（5地域）

「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。

委 員 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委 員 13人

地域乳がん検討委員会

（設置地域） 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議をWEBにより開催した。

開 催 日： 令和5年11月7日（火）

議 題：

- ア 令和4年度乳がん検診結果報告等について
- イ 令和3年度乳がん疫学調査結果報告について
- ウ 令和4年度地域乳がん検討委員会の開催状況について

(5) 新潟県前立腺がん検討委員会

前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦
委員 12人

新潟県前立腺がん検討委員会を書面協議により開催した。

開催日： 令和6年2月7日(水)

議 題：

- ア 令和4年度前立腺がん検診結果等について
- イ その他

4 がん予防と受診率向上に向けた普及啓発活動

(1) 新潟はっぴー乳ライフ事業

「新潟はっぴー乳ライフ」事業としてピンクリボンホリデーのイベントを実施し、乳がん予防の啓発を図った。

代 表 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡
実行委員 28人

令和5年4月26日(水)	第1回実行委員会	WEB開催
6月7日(水)	第2回実行委員会	県医師会館・WEB ハイブリッド開催
7月26日(水)	第3回実行委員会	〃
9月6日(水)	第4回実行委員会	〃
12月19日(火)	第5回実行委員会	WEB開催
令和6年2月13日(火)	第6回実行委員会	〃

「ピンクリボンホリデー2023」を開催した。

開催日： 令和5年10月15日(日)

開催方法： ハイブリッド開催

(実地開催+リアルタイム配信+録画配信)

参加者： 講演、トークショー：90名(概数)

リアルタイム配信 視聴回数：48回

録画配信 視聴回数221回(ユニーク人数：133人)

内 容：

ア 講 演

「お勧めの乳がん検診って何ですか？～検診の効果について
考えてみよう～」

講 師： にいがた乳腺クリニック 院長 長谷川 美樹
司 会： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

イ トークショー

「がんになる前の私に伝えたいこと～キャンサーギフトを手に入れて～」

演 者： フリーアナウンサー 伊勢 みずほ
新潟医療福祉大学准教授 五十嵐 紀子

(2) 市町村と共同で開催する講演会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(4) 肝炎対策の普及啓発

新潟大学医歯学総合病院肝疾患相談センターと協働し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、市民公開講座を開催し普及啓発を行った。

<市民公開講座>

開催期間： 令和5年7月24日(月)～8月20日(日)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

参加者： 26人

内 容：

ア 「肝臓の働きについて」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 助教 薛 徹

イ 「B型肝炎ウイルスについて」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 講師 上村 博輝

ウ 「C型肝炎ウイルスについて」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任助教 渡邊 雄介

エ 「アルコール性肝炎について」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 講師 坂牧 僚

- オ 「非アルコール性脂肪性肝疾患について」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任准教授 横尾 健
- カ 「自己免疫性肝炎について」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 特任助教 酒井 規裕
- キ 「原発性胆汁性胆管炎について」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 特任助教 木村 成宏
- ク 「肝硬変について」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 准教授 土屋 淳紀
- ケ 「肝細胞癌について」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 助教 阿部 寛幸

(5) ホームページを活用した情報提供活動 (再掲)

(6) 企業と共同で開催する講演会 (Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業) (新規)

(7) 「“いのち”の講演 ～ がん について知る ～」講演会の開催 (新規)

若い世代を中心とした広い世代が集うイベントで、がんを含む生活習慣病に関する基本的な知識や検診の重要性について啓発することを目的として講演会を開催した。

開催日： 令和6年3月24日 (日)

イベント名： 2024 BEST OF MISS 新潟代表選考会

場 所： 新潟グランドホテル

参加者： 70人

演 題： 「“未来に備え、健康を学ぶ”

「いのちの講演 ～ がん について知る ～」

講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

5 広報による受診勧奨 (Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業との共同事業)

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発等事業

1 円滑な事業実施を図るための取組み

(1) 普及啓発用備品整備貸出等 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

2 研究・研修の推進

(1) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県糖尿病対策推進会議の運営等を支援した。

会 長	新潟県健康づくり財団理事長	渡部 透	
会 員 数	個人 8人 団体 63団体		
令和5年8月9日(水)	第1回幹事会		WEB開催
10月6日(金)	第1回理事会		書面協議
令和6年3月8日(金)	第2回理事会		書面協議

第10回新潟県糖尿病対策推進会議総会を開催した。

開 催 日： 令和5年12月2日(土)
場 所： 新潟県医師会館、WEB(ハイブリッド)開催
参 加 者： 新潟県医師会館7人、WEB接続数42
内 容：

ア シンポジウム

テーマ 「改めてチーム医療の地域連携を考えるー糖尿病連携手帳の活用ー」

座 長 上村医院 院長 上村 伯人

シンポジスト

日本歯科大学新潟生命歯学部

歯周病学講座 准教授 両角 祐子

済生会新潟病院 栄養科長 治田 麻理子

坂井東調剤薬局 吉田 智彰

イ 特別講演

演 題 「日本糖尿病協会のグッズを活用する」

座 長 上村医院 院長 上村 伯人

講 師 日本糖尿病協会 幹事

二田哲博クリニック姪浜 院長 下野 大

(2) フレイル克服プロジェクト

県の委託により県民の健康寿命の延伸を図るため、「加齢予防介入モデル事業」と「疾病介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

令和5年7月11日（火）フレイル対策二次予防等事業実施報告会

令和6年3月23日（土）フレイル克服対策講習会（ライブ配信）

司 会： 恒仁会新潟南病院 統括顧問 和泉 徹

講演1： 「消化器疾患におけるサルコペニア対策」

講 師： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座
特任准教授 上村 博輝

講演2： 「消化器外科疾患とサルコペニア・フレイル」

講 師： 新潟市民病院 消化器外科部長 亀山 仁史

視聴者数：12名

・加齢予防介入モデル事業

ア 関係機関： 関川村「健脚・健脳うんどう日」

開 催 日： 令和5年11月10日（金）～令和6年1月31日（水）

参 加 者： 58名

実施内容： 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、
脳年齢測定等

イ 関係機関： トキめき会（佐渡市）

開 催 日： 令和5年12月8日（金）、9日（土）

参 加 者： 113人

実施内容： 10m歩行速度、握力、バランス機能、筋肉量、
認知機能、視力、聴力等

・疾病介入モデル事業

関係機関： 新潟南病院、佐渡総合病院、信楽園病院

テ ー マ： 「フレイルを伴う高齢心不全患者へのリハビリ介入」

関係機関： 新潟市民病院

テ ー マ： 「消化器外科手術症例におけるフレイル評価の有用性」

関係機関： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座

テ ー マ： 「肝疾患のサルコペニアにおける栄養状態」

関係機関： 新潟南病院

テ ー マ： 「身体的フレイル高齢患者に対する独歩プロジェクト
『DOPPO』」

関係機関： 新潟大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野

テ ー マ： 「歯科外来患者における口腔機能低下症診断の実態調査」

3 生活習慣病と受診率向上等に向けた普及啓発活動

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

開催日： 令和5年10月6日（金）

場 所： 加茂文化会館 大ホール

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

該当なし

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 佐藤 一明 医師

高橋 慶一 //

佐々木 一圭 //

馬場 賢哉 //

風間 芳樹 //

山崎 直子 保健師

原田 浩一 診療放射線技師

団体 該当なし

（2）生活習慣病予防展

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を目的として、関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

開催日： 令和5年10月6日（金）

場 所： 加茂文化会館 ホワイエ（第38回がん征圧新潟県大会と併催）

（3）ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

（4）令和のむし歯治療講演会（新規）

公益財団法人8020推進財団の「令和5年度歯科保健活動助成事業」として、新潟県や新潟市から後援を受け、新潟大学歯学部との共催により、成人期以降の県民を対象に「う蝕、歯周病など歯科疾患予防に関する講演会」を開催した。

開催日： 令和5年12月3日（日）

場 所： 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

参加者： 38人

内 容：

演題1 「あなたの食生活 むし歯になりやすいかも？」

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 予防歯科学分野 教授 小川 祐司

演題2 「もうむし歯をこわがらない！あなたのむし歯のなりやすさを予測して簡単に歯を守ろう」

講師： 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
口腔疾患予防学分野 助教 安達 奈穂子

演題3 「新潟大学病院歯科の歯をむし歯からまもり管理するシステムの紹介」

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杓 由一郎

4 広報活動

(1) 広報による受診勧奨

ア 新聞広告等

9月と11月に新潟日報朝刊に、がん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

また、新潟日報社の「めざせ!!健康寿命日本一、にいがたプロジェクト」に協賛し、3月にがん検診受診勧奨広告を掲載した。

イ フリーペーパー広告

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

- ・ 4月25日発行分 : 子宮頸がん
- ・ 6月25日発行分 : 大腸がん
- ・ 8月25日発行分 : 乳がん

ウ サイネージ広告

4月から1年間、万代シティバスセンター内の発着番線10柱のデジタルサイネージにがん検診受診勧奨動画を放映し、バス待ちの乗客や買い物客へ向けた受診勧奨を行った。

エ ポスター・リーフレットの配布	(部数)
・ポスター「がん征圧月間」	340枚
・ポスター「禁煙推進」	340枚

(2) 機関紙「陽光」発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

ア 第35号（令和5年6月発刊）

- ・「認知症の正しい理解と予防について」
総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 成瀬 聡
- ・「長引く咳嗽」
あがの市民病院 病院長 藤森 勝也
- ・「むし歯治療最前線—削らずに歯を護り管理する」
新潟大学大学院医歯学総合病院歯科
う蝕予防管理システムワーキンググループ委員長 野杵 由一郎

イ 第36号（令和5年12月発刊）

- ・「Well-being とスタスタ・ピンピンライフ、少子・超高齢社会の健康観」
新潟南病院 統括顧問 和泉 徹
- ・「中学校での『“いのち”についての講演会』を通して目指すプレストアウェアネス」
済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

IV がん予防普及啓発活動

1 がん征圧に向けた普及啓発活動

(1) がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

がん征圧維持会員募集実績

・法人会員	自治体会員	30 市町村	1,180,000 円
	医師会会員	16 団体	410,000 円
	検診団体会員	23 団体	230,000 円
	一般法人会員	46 団体	473,110 円
・個人会員		33 人	143,000 円
	(合 計		2,436,110 円)

(2) 第38回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRしがん撲滅の誓いを新たにするため、加茂市、東北広域次世代がんプロ養成プラン（新潟大学）との共催及び関係機関の協力のもと開催した。

開催日： 令和5年10月6日（金）

場 所： 加茂文化会館 大ホール

参加者： 250人

内 容：

ア 式 典

イ 特別講演 「乳がんを征圧するために」

講 師 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小山 諭

ウ 体験談 「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」

講 師 よつばの会代表・女優・タレント 原 千晶

エ ミニコンサート シンガーソングライター ルウ・ハルベ

(3) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

2 広報による受診勧奨（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業及びⅡ がん検診等受託事業と共同事業）

V 研究研修事業

1 研究・研修の推進

(1) 健康診査従事者研修会

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で開催した。

開 催 日： 令和6年3月6日（水）

開催場所： アートホテル新潟駅前

参 加 者： 合同研修 101 人

第一分科会 86 人

第二分科会 39 人

第三分科会 17 人

内 容：

ア 合同研修

講 演 「今回の地震災害の状況に学ぶ、災害時の対応について」

講 師 （公社）中越防災安全推進機構 地域防災力センター

マネージャー 防災士 河内 毅

イ 第一分科会

講演1 「第4期特定健診・特定保健指導の改正点について」

講 師 新潟県福祉保健部 健康づくり支援課 主任 今村 円香

講演2 「大腸がん検診のカットオフ値について」

講 師 新潟県立中央病院 副院長 船越 和博

ウ 第二分科会

講演1 「胃X線検診のための読影判定区分導入準備にあたって」

講師 新潟県労働衛生医学協会 健診部 課長 帆苅 隆

講演2 「胸部エックス線画像を用いた骨の状態を解析するプログラム医療機器の紹介」

講師 iSurgery 株式会社 代表取締役医師 佐藤 洋一

エ 第三分科会

症例検討 「HPV 検査実施症例の細胞像」

座長 新潟県保健衛生センター 婦人科検診室長 井上 博子

演者 上越地域総合健康管理センター 事業課係長 江村 敦子

下越総合健康開発センター 検診検査事業部

副部長 姫路 由香里

厚生連長岡中央総合病院 病理部 技師 常木 菜々恵

新潟県保健衛生センター 検査科 技師 佐藤 佳奈

講演 「HPV 型と細胞像」

講師 杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科

准教授 大河戸 光章

(2) 細胞検査士研修会（県委託事業）

肺がん検診及び子宮頸がんの受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として研修会を開催した。

開催日： 令和5年9月2日（土）

開催方法： 新潟県医師会館

参加者： 62人

内容：

ア 講演

演題 「肺癌治療の進歩と病理連携の重要性」

講師 新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 三浦 理

イ 症例検討

演題 「気管支鏡細胞診の異型細胞 — 良シなの？ワルなの？」

座長 新潟県立がんセンター新潟病院病理診断科

医長 西田 浩彰

講師 長岡赤十字病院病理診断部 部長 薄田 浩幸

新潟県立がんセンター新潟病院病理診断科

病理部長 渡邊 玄

(3) がん検診セミナー（県委託事業）

本県の肺がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的としてセミナーを開催した。

開催日： 令和6年1月12日（金）

開催方法： WEB開催（ZOOMによるライブ配信）

参加者： 85人

内容：

講演1 「新潟県のたばこ対策・受動喫煙対策について」

講師 新潟県福祉保健部 健康づくり支援課成人保健係 主任 石黒 裕二

講演2 「禁煙支援のための知識」

講師 新潟大学医学部保健学科 教授 関 奈緒

[収益事業等]

I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

特定健診結果電子化代行処理業務 478機関 76,257件 (76,030件)
()内は令和4年度実績

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

特定健診個人結果通知書作成業務 3市・58機関 3,392件 (3,412件)
()内は令和4年度実績

3 健康づくり及び生活習慣病等に関する印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、がん検診等について、分かりやすく解説したリーフレット、冊子を市町村・健（検）診実施機関向けに頒布した。

(リーフレット)

・がん検診	11 施設	3,900 部
・乳がん検診とブレストアウェアネス	38 施設	54,700 部
・女性のがんと健康	17 施設	13,000 部

(冊子)

・がんのしおり	25 施設	25 冊
・生活習慣病のしおり	43 施設	43 冊

事業報告附属明細書

令和5年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。